事業番号 2-3

平成28年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	女性消防団活動事業	事業開始年度	平成18年度
上位施策事業名	消防・救急体制を充実する	担当局・部名	消防本部
根拠法令等	消防組織法、加古川市消防団条例	担当課･係名	総務課消防団係
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	君野　正則
実施の背景	男女共同参画社会の視点から全国的な動きとして、女性消防団員を採用する消防団が増加しており、地域社会に対する火災予防活動等で活躍している。 加古川市においても、時代に即した新しい消防団として活動するため、平成１８年４月１日に女性消防団を発足した。		
目　的 （何をどうしたいのか）	①地域における消防防災のリーダーとして、市民の安全・安心を確保する。 ②防火防災意識の普及啓発や救命講習を実施し、市民の災害に対する意識向上を図る。		

事業概要

対　象 （誰・何を対象に）	全市民	対象者数（全住民に対する割合）	267,431　人　（　100　％　）
実施方法	■直接実施		
	■業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：　加古川市消防団　）		
	□補助金〔直接・間接〕（補助先：　　実施主体：　　）		
	□貸付（貸付先：　　）□その他（　　）		

事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標
イベント等での広報活動	105	千円	参加回数
幼稚園での広報活動		千円	実施回数
救命講習の実施		千円	実施回数
各種訓練等の実施	680	千円	参加団員数
女性分団事務の委託	250	千円	

事業内容（手段、手法など）

関連事業（同一目的事業等）：消防団運営管理事業、消防団活動事業

コスト

	28年度（予算）	27年度（決算）	26年度（決算）	25年度（決算）
事業費合計	1,237 千円	1,035 千円	1,009 千円	1,145 千円
事業費内訳（平成27年度分）	非常勤職員報酬　317千円（分団長72千円、副分団長45千円、部長30千円、班長17千円、団員16千円） 費用弁償　168千円（訓練出動手当　延210名×１件800円＝168千円） 消耗品費　300千円（被服等） その他の委託料　250千円（女性分団行政事務委託料　分団運営費）			

人件費	28年度（予算）	27年度（決算）	26年度（決算）	25年度（決算）
担当正職員	0.1 人　764 千円	0.1 人　764 千円	0.1 人　764 千円	0.1 人　764 千円
臨時職員等	人　千円	人　千円	人　千円	人　千円
人件費合計	0.1 人　764 千円	0.1 人　764 千円	0.1 人　764 千円	0.1 人　764 千円
総事業費	2,001 千円	1,799 千円	1,773 千円	1,909 千円

財源内訳	28年度（予算）	27年度（決算）	26年度（決算）	25年度（決算）
国県支出金	千円	千円	千円	千円
国県支出金の内容				
地方債	千円	千円	千円	千円
その他特財	千円	千円	千円	千円
その他特財の内容				
一般財源	2,001 千円	1,799 千円	1,773 千円	1,909 千円
財源合計	2,001 千円	1,799 千円	1,733 千円	1,909 千円

事業番号 2-3

平成28年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	女性消防団活動事業	事業開始年度	平成18年度

事業実績

【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度
イベントへの参加回数	回	2/5	3/5	2/5
幼稚園での広報活動実施回数	回	3/5	4/5	5/5
救命講習実施回数	回	6/12	7/12	1/12
各種訓練等参加延べ団員数	人	165/240	157/240	178/240
女性分団団員数	人	14/20	15/20	12/20
単位当たりコスト　総事業費 ／ 来場者数・園児数・受講者数	円	635	642	721

事業成果

成果目標（指標設定理由等）

市民に対して防火防災意識の普及啓発及び救命講習を実施し、地域防災力の向上と地域防災意識の高揚を図り、防災対策に取り組む市民数の増加を目標としている。
※成果指標は、平成20年度、平成26年度に実施した「市民意識調査」より。

成果（目標達成状況）

【成果指標名】（実績値）	単位	H26年度	H20年度	H32年度目標値
何らかの防災対策に取り組んでいる市民の割合	%	53.3	51.3	70.0

【成果指標名】（実績値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度
イベント等における広報活動来場者数	人	2,500	2,200	2,200
幼稚園での広報活動受講園児数	人	200/350	315/350	387/350
救命講習受講者数	人	131/360	183/360	60/360

事業の自己評価

事務事業評価結果

□拡充　■維持　□縮小　□改善　□統合　□廃止　□休止　□完了

幼少期から防火防災意識を根付かせるため、幼稚園等の児童に対して紙芝居による防火・防災を呼びかけ、火災の怖さ、火災時の注意点などを伝えた。
また、女性消防団員14名中12名は、応急手当普及員の資格を取得し、町内会、各種イベント、新規入団者に対して救命講習を実施するなど応急手当の普及啓発に寄与している。
さらに、消防団活動に興味を持ってもらい、消防団員入団促進をめざすため、男性消防団員と合同で、ポンプ車に乗車し、記念撮影を行うなど、消防団のPR活動を実施した。

今後の事業の方向性、課題等

今後も、女性消防団活動事業を継続し、広報活動、予防指導、救命講習など防火防災意識の普及啓発活動及び救命講習を積極的に行い、地域防災力の向上や救急・救命に対する意識の高揚を図る必要がある。
また、「何らかの防災対策に取り組んでいる市民の割合」を平成32年度には70%とする目標を達成するため、さらなる女性消防団の増員及び活性化を図る。

比較参考値（他自治体での類似事業の例など）

東播磨地区消防団員数　（H28.4.1現在）

	団員定数	団員数	女性団員数	人口
加古川市消防団	1,200人	1,181人	13人	268,651人
明石市消防団	1,040人	1,036人	14人	297,693人
高砂市消防団	675人	668人	—	93,342人
稲美町消防団	863人	861人	—	31,539人
播磨町消防団	365人	332人	18人	34,662人

特記事項

事業番号 2-3

平成28年度

委託・指定管理・補助等　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	女性消防団活動事業	事業開始年度	平成18年度
団体名	加古川市消防団		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	消防組織法、加古川市消防団条例		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	分団運営費	200 千円
県からの財政支出金	千円	防火広報活動費	50 千円
市町村からの財政支出金	250 千円		千円
委託料・指定管理料	250 千円		千円
補助金	千円		千円
その他	千円		千円
その他　（　　）	千円		千円
総計	**250 千円**	**総計**	**250 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

加古川市消防団は、昭和34年10月1日市内を統合して1団として発足し、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消火・防災活動はもとより、平常時の啓発活動など幅広い分野で地域防災の要として重要な役割を果たしている。

組織の状況としては、平成28年4月1日現在、1本部、19分団（女性分団含む）1,181名の消防団員が活動している。

資本金		千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員						

団体全体の収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	事業費	13,260 千円
県からの財政支出金	千円	管理費	千円
市町村からの財政支出金	14,260 千円	人件費	千円
委託料・指定管理料	14,260 千円	その他　（　車両維持管理費　）	1,000 千円
補助金	千円	**総計**	**14,260 千円**
その他	千円		
その他　（　　）	千円		
総計	**14,260 千円**	**収支差**	**0 千円**

特記事項

負債総額：　　円　　資本総額：　　円
利益剰余金（もしくは欠損金）：　　円

財務諸表URL

委託先シート				平成27年度
1	委託先	加古川市消防団	委託金額	250 千円
	委託内容	消防団の行政事務及び運営に係る事務 （分団運営に係る庶務事務・経理事務等）	事業者選定方法	１者随意契約 （消防団の運営に係る事務を委託することから、消防団以外にない。）
2	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
3	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
4	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
5	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
6	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
7	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
8	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
9	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	
10	委託先		委託金額	千円
	委託内容		事業者選定方法	

女性消防団員活動写真

（5月） 礼式訓練

（7月） 女性消防団員技術研修会

（7月） 救命講習

（9月） 加古川市総合防災訓練

（11月） ツーデーマーチ

（11月） 防災のつどい

女性消防団員活動写真

（11月） 防災のつどい

（1月） 消防出初め式

（1月） 消防出初め式

（1月） 消防出初め式

（2月） 幼稚園紙芝居

（3月） BANBANラジオ防火広報

7、加古川市消防団

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、有志により組織されている公的機関であり、団員は、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員である一方、平時は各自の職業等に従事しながら、自らの意思に基づき、消防活動に従事しています。

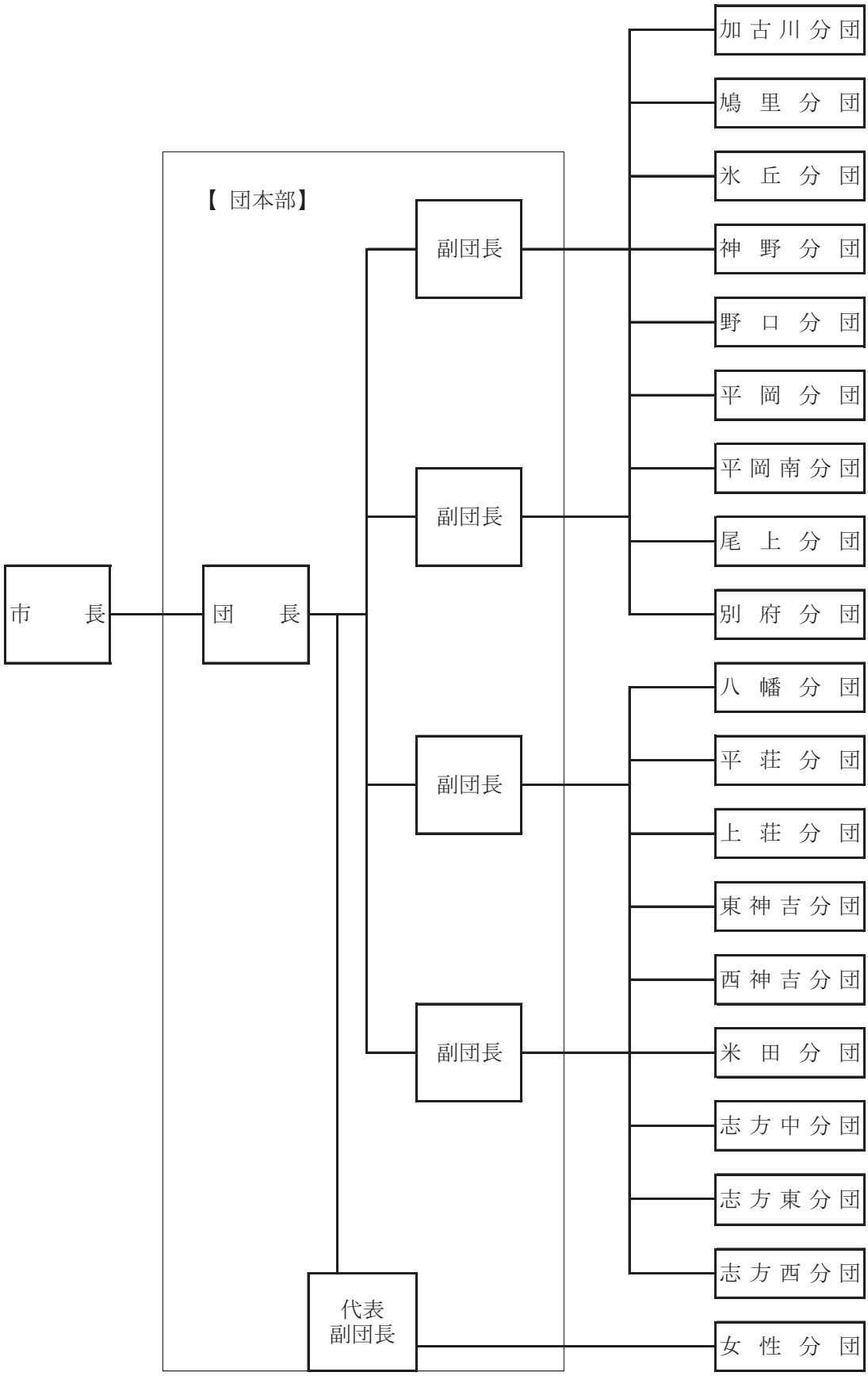
また、消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動等非常に重要な役割を果たしています。さらに平時においても、市民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

（1）消防団の沿革

西　暦	年　月　日	概　要
1939 年	昭和14年　4月　1日	消防組を警防団に改称する。
1947 年	昭和22年　5月　1日	警防団を消防団に改称する。 加古川町、高砂町、米田町、荒井村、尾上村の 3 町 2 村にあった警防団が消防団に改称されるとともに団員数が 977 名から 684 名に削減され、防火消防に重点を置く新消防団が結成された。
1948 年	昭和23年　3月　7日	加古川町消防本部及び加古川町消防署が自治体消防として再発足されたことに伴い、消防団も加古川町消防団 1 団 5 分団、団員数 350 名に改められた。
1950 年	昭和25年　6月 15日	加古川市制が施行されたことにより、加古川町、野口村、神野村、尾上村、平岡村の 5 箇町村が合併し、1 市 5 団、団員数 1,349 名に改められた。
1951 年	昭和26年10月　1日	加古川市に別府町を編入し、1 市 6 団に改められた。
1955 年	昭和30年　4月　1日	加古川市に八幡村、上荘村、平荘村を編入し、1 市 9 団に改められた。
1956 年	昭和31年　9月 30日	加古川市に米田村の一部と東神吉村、西神吉村を編入し、1 市 12 団 103 分団、団員数 2,815 名に改められた。
1959 年	昭和34年10月　1日	機構改革により、1 市 1 団 12 分団、団員数 2,600 名になり、加古川市消防団と改称された。
1979 年	昭和54年　2月　1日	加古川市に志方町を編入し、1 市 1 団 15 分団、団員数 1,949 名に改められた。
1980 年	昭和55年　4月　1日	機構改革により、加古川町を 3 分団に分け、1 市 1 団 17 分団、団員定数 1,030 名に改正され、防火消防から予防消防へと体制強化が図られた。
1985 年	昭和60年　4月　1日	平岡南分団が新設されて 1 市 1 団 18 分団となり、団員定数 1,200 名に改正される。
2006 年	平成18年　4月　1日	女性消防団（愛称：リバーエンジェルス）が新設されて 1 市 1 団 19 分団となる。

（２）消防団の組織

定数：1,200名



（３）団員の階級別人員

（平成28年4月1日現在）

	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
団本部	6	1	5					
加古川分団	55			1	3	2	15	34
鳩里分団	69			1	3	2	15	48
氷丘分団	62			1	3	2	15	41
神野分団	64			1	3	2	15	43
野口分団	74			1	3	2	15	53
平岡分団	64			1	3	2	15	43
平岡南分団	64			1	3	2	15	43
尾上分団	72			1	3	2	15	51
別府分団	64			1	3	2	15	43
八幡分団	69			1	3	2	15	48
平荘分団	63			1	3	2	15	42
上荘分団	59			1	3	2	15	38
東神吉分団	63			1	3	2	15	42
西神吉分団	64			1	3	2	15	43
米田分団	64			1	3	2	15	43
志方中分団	64			1	3	2	15	43
志方東分団	64			1	3	2	15	43
志方西分団	64			1	3	2	15	43
女性分団	13			1	1	1	2	8
合計	1,181	1	5	19	55	37	272	792

（４）団員の在職年数

（平成28年4月1日現在）

	総数	5年未満	5年 ～9年	10年 ～14年	15年 ～19年	20年 ～24年	25年 ～29年	30年以上
団本部	6						1	5
加古川分団	55	12	10	8	6	10	3	6
鳩里分団	69	23	21	10	4	7	3	1
氷丘分団	62	16	16	14	6	5	3	2
神野分団	64	18	21	17	4	1	2	1
野口分団	74	27	15	20	4	5	2	1
平岡分団	64	21	12	9	9	12	1	
平岡南分団	64	18	14	10	9	4	3	6
尾上分団	72	17	22	10	10	12	1	
別府分団	64	11	17	15	10	4	4	3
八幡分団	69	33	16	11	3	5	1	
平荘分団	63	11	19	12	10	7	3	1
上荘分団	59	13	16	11	7	10	1	1
東神吉分団	63	18	9	6	14	9	5	2
西神吉分団	64	14	21	10	9	4	3	3
米田分団	64	17	15	16	6	4	4	2
志方中分団	64	14	10	13	14	5	2	6
志方東分団	64	16	19	6	6	6	6	5
志方西分団	64	15	16	16	9	5	2	1
女性分団	13	5	4	4				
合計	1,181	319	293	218	140	115	50	46

（５）団員の年齢

（ 平成28年4月1日現在）

	総数	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳～
団本部	6								1	1	4
加古川分団	55		4	8	5	9	10	5	4	7	3
鳩里分団	69			2	3	6	23	18	14	1	2
氷丘分団	62		3	4	3	13	12	10	9	6	2
神野分団	64		3	4	10	11	18	13	3	1	1
野口分団	74			4	3	15	28	14	8	2	
平岡分団	64		3	4	8	11	14	10	12	1	1
平岡南分団	64		2	6	1	6	18	12	8	8	3
尾上分団	72			9	6	12	13	20	9	1	2
別府分団	64			1	5	14	14	9	13	6	2
八幡分団	69			17	25	9	10	2	6		
平荘分団	63				8	7	14	10	9	14	1
上荘分団	59		2	4	12	11	16	8	5	1	
東神吉分団	63		2	3	4	12	13	10	14	2	3
西神吉分団	64		1	3	7	11	12	16	6	7	1
米田分団	64	1	1	7	8	12	14	12	8	1	
志方中分団	64			3	7	13	17	12	6	4	2
志方東分団	64		1		5	6	23	8	9	7	5
志方西分団	64				6	15	16	17	8	2	
女性分団	13		2		2	3	4	2			
合計	1,181	1	24	79	128	196	289	208	152	72	32